



# 自衛隊千葉地方協力本部

## 千葉市立みつわ台北小学校に対する防災教育支援について

自衛隊千葉地方協力本部（本部長 大山康倫1等海佐）は、東日本大震災から10年の令和3年3月11日（木）、千葉市立みつわ台北小学校5年生約45名に対して、防災に関する学習支援を実施した。

当日は「自衛隊と防災」について、東日本大震災での活動をはじめ、令和元年、千葉県内を襲った台風災害での活動等を紹介するとともに、災害が起きた時に備え日頃から準備しておくことや避難場所等を分かりやすく説明し、防災意識の高揚を図った。

児童からは「いつも災害派遣活動ありがとうございます。地震等に備え自分が準備することや行動することの大切さが分かりました。」との発言があった。また先生からは「非常に分かりやすく防災意識の高揚になった。今後も定期的に防災に関する教育をお願いしたい。」との発言があった。

自衛隊千葉地方協力本部は、今後も学校と連携を図り、生徒の防災への意識を高める教育支援をしていくとしている。



## 本部庁舎前にデジタルサイネージを設置！！

自衛隊千葉地方協力本部（本部長 大山康倫1等海佐）は、令和3年3月12日、本部庁舎前に新たにデジタルサイネージ（電子掲示板）を設置した。

千葉地本の本部庁舎は、千葉市有数の文教地区と言われる地域にあり、本部庁舎近傍には国立大学ほか私立大学2校、公立私立高等学校3校があつて本部庁舎前の交差点には日中多くの学生が通る通学路になっている。

予てから本部庁舎前の交差点は格好の募集広報の場であるとして、大看板や募集広報ポスターを掲示してきたが、若者の心を引くにはいまひとつであった。

今回、長年の要望が叶い設置されたデジタルサイネージは、交差点の信号待ちで十数秒間足を止める学生や県民市民らに自衛隊の魅力伝えることができ、今後の募集広報効果が大きいに期待できるものである。

千葉地本は、「今後あらゆる動画映像を発信し、地域住民に自衛隊の魅力伝え、また学生らに興味を持ってもらい、志願者の獲得につなげていきたい」としている。

